

[横浜市長浜ホール]
 令和5年度業務計画及び収支予算
 [横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市長浜ホール
所在地	横浜市金沢区長浜1-4-4 長浜野口記念公園内
構造・規模	ホール棟：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）、地上2階・地下1階 旧細菌検査室：木造平屋建て
敷地・延床面積	ホール棟：建築面積 544.62 m ² 、延床面積 984.25 m ² 旧細菌検査室：建築面積・延床面積 96.69 m ²
開館日	平成9年5月22日

2 指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体
所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表者	株式会社横浜メディアアド 代表取締役社長 三浦 彰久
設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化政策の背景、および施設の立地している金沢区の現状を踏まえ、また、当事業体が3期15年にわたり培ってきた実績を鑑み、第4期のビジョン(目指すべき姿)を「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」と策定しました。コロナ禍にあつて、文化施設は「文化芸術が困難な時期にポジティブに立ち向かう方法を提供する場」であることを再認識させられました。文化芸術を活用して地域に交流と活性を創出することが長浜ホールの果たすべき役割であり、存在意義です。そのためには安定的な利用者層を確保し、文化芸術の担い手、理解者を増やすことが必要です。そのことからビジョン実現のためのミッションとして「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」を掲げました。ミッション達成のため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の6つの方針で長浜ホールの管理運営に取り組みます。

【基本方針】

ビジョン：「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」

ミッション：「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 方針1 | 利用者づくりを強化・推進する |
| 方針2 | 歴史的建造物の保存・活用に地域のネットワークを活用する |
| 方針3 | 参加型事業で担い手を育成し、市民の交流を促進する |
| 方針4 | ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する |
| 方針5 | オンラインの環境整備を進める |
| 方針6 | 安全・安心を優先して運営します |

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

第4期2年目となる令和5年度は、アフターコロナを睨み制限緩和に向けた施設運営を心がけます。消毒対策は継続して、安全で安心して利用でき、コンサートに来ることのできる施設像を確立します。また、初年度に行えなかったホームページをリニューアルし、アクセスしやすく内容も刷新します。新規の事業の展開も考慮に入れて、感染症の動向を睨みつつ、文化芸術のコンテンツを増やしていく年度を目指します。

イ 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる

文化芸術をはじめとした活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援します。文化芸術の鑑賞機会を市民に提供することで体験の場とし、“使ってみたいホール”“行ってみたい施設”像を確立します。

ウ 使命2 歴史的建造物を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介とし地域の力を結びつける

横浜市認定歴史的建造物である建造物の保存・活用を適切に行い、施設の魅力を発信するとともにさまざまな施設・団体・資源を有機的に結び付け、文化的commonsの形成に寄与します。

エ 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

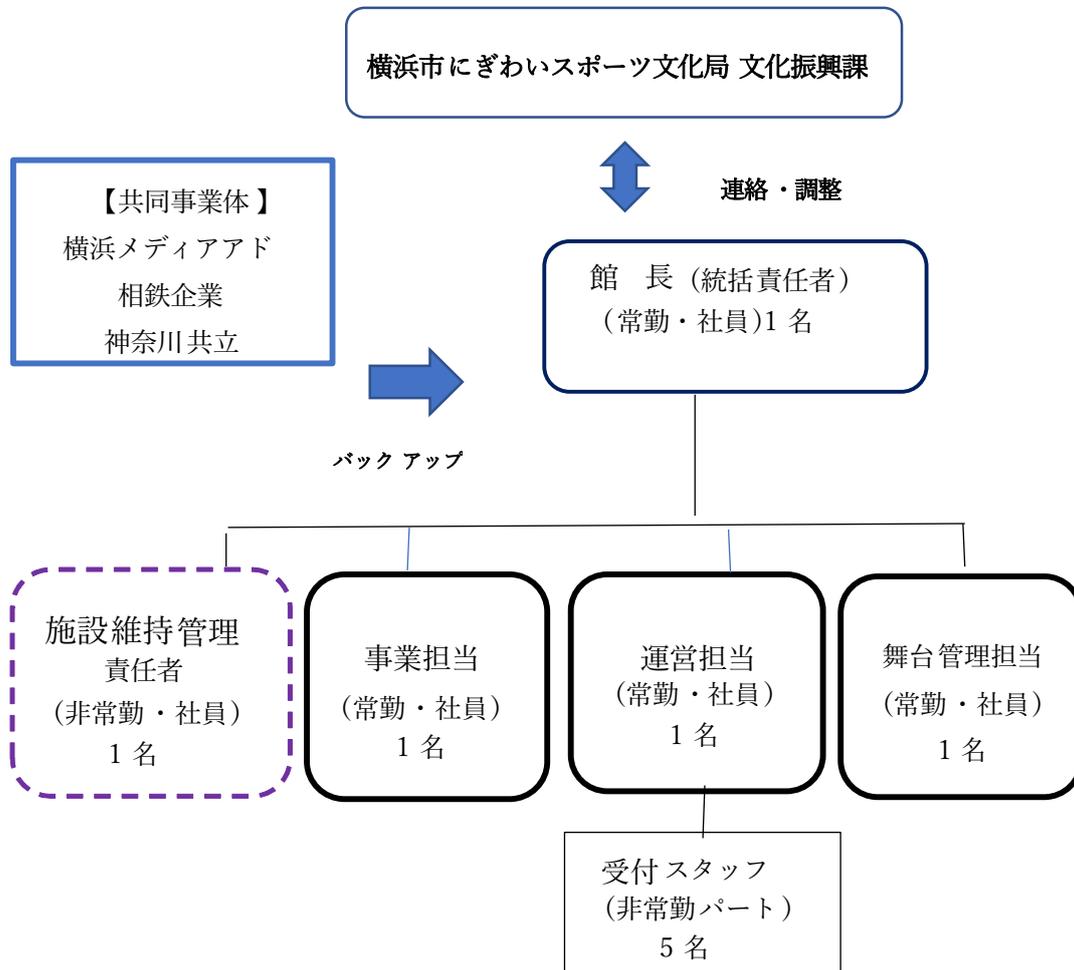
市民の活動を支援し、近隣住民をはじめあらゆる人たちに親しまれる施設となるため、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の視点も踏まえた市民の文化芸術活動の可能性を広げます。

オ 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持します。また、効率的な経費の執行や収入増への取組み等により、安定的かつ利用者の視点に立った施設運営を行います。

カ 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する
 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続します。

4 運営組織の構造、人員配置



本施設の運営組織は、指定管理施設運営のスペシャリストである横浜メディアアドが統括責任者である「館長」をはじめ、事務系職と文化事業を企画する事業等を担当し、高度で総合的な施設管理のスペシャリストである相鉄企業が施設維持管理や清掃業務を、舞台美術のスペシャリストである神奈川共立が舞台管理を担当します。

3社の協業体制のもと、各担当職員には文化事業の企画実施・施設運営・施設管理に幅広い知識と実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。

また、職員と受付スタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

令和5年度はコンサートやワークショップの制限緩和に努め、たくさんの人が気軽に來ることのできるイベント開催を重点的に取り組みます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(2) 集会や講演会利用への施設の提供

令和5年度は利用者、來館者の立場に立ち、ユーザビリティの検証から始め、施設利用の拡大に重点的に取り組みます。具体的内容や指標は、指定管理業務計画表に記載します。

(3) 施設運営

令和5年度は文化施設運営の専門能力を有する職員と地域から登用したスタッフとの共同体制の下、「専門性」と「市民・施設利用者・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたり、持続可能性を高める管理運営に努めます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(4) 施設管理

施設の状態を常に良好に保ち、安全かつ快適に利用することができるように適切な管理を行います。感染症対策はガイドラインの動向に寄り添いながら、これまで培ってきた知見を最大限活用して実施します。施設及び設備の維持保全及び修繕については、利用者、來館者が安全かつ快適に利用できるように適宜適切に取り組むとともに、大きな修繕については、横浜市と十分協議を進めながら施設及び設備の長寿命化の視点で計画立案します。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(5) 収支

令和5年度は空き室を少なく、貸館利用者を増やし、指定管理料に依存しない収支構造に取り組みます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

令和5年度は、計画書、月報、報告書の具体的且つ簡潔な記載により、分かりやすく業務評価に繋げていきます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(7) その他

令和5年度は、ガイドラインと施設の現況をすり合わせながら、新型コロナウイルス感染予防に努めます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館利用率	ホール	—	75%	—	—	—	78%	—
		会議室	—	47%	—	—	—	48%	—
		多目的ルーム	—	59%	—	—	—	60%	—
		音楽練習室	—	89%	—	—	—	90%	—
2	総来場者数	—	34,400 人	—	—	—	35,400 人	—	
3	貸館利用者の新規利用率	—	1年目 +1%	—	—	—	1年目 +4%	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者野 状況につ いての現 状把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アンケート等で現状把握ができています
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で把握した内容を現状に活かしている
		R 8 実績	—
2	40歳以 下の利 用者 比率	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アンケート等で全体の20%を確認
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で全体の30%を確認
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 事業開催時等でアンケートを実施し、する。
- ② 利用者懇談会や利用相談等で意見を聴取する。
- ③ 上記で得た結果を解析し、利用者や事業参加者の現状・ニーズを把握して、職員間で共有する。

(2) 使命2 歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業数	2本	4本	—	—	—	5本	—
2	地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数	2本	1本	—	—	—	2本	—
3	長浜ホール賛同団体公募の実施	—	5団体	—	—	—	10団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	建築物について歴史的建造物としての適切な保存・管理	R4実績	—
		R5達成指標	見学者ノートでの好意的な意見 80%以上
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	見学者ノートでの好意的意見 80%以上
		R8実績	—
2	地域等の施設・団体等との連携状況のレポート	R4実績	—
		R5達成指標	1本
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	3本
		R8実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業を開催する(野口英世フェア、野口英世博士への手紙コンテスト、夏休みこども体験教室)。
- ② 地域の施設、団体と連携した事業を開催する(夏休みファミリーコンサート、生涯学習フェスティバル)。
- ③ 延期していた長浜ホール賛同団体の公募を開始する。

(3) 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	事業参加数に対する継続的な近隣住民の割合	—	40%	—	—	—	50%	—
2	学校プログラムの実施数	—	3校	—	—	—	4校	—
3	参加・体験型事業への総参加者数	—	150人	—	—	—	200人	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	事業参加者、子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アンケート等に寄せられた感想等を通して特に子どもたちが文化芸術分野に興味を持った様子を把握できている
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	学校から文化芸術の体験やアウトリーチを望む声が長浜ホールに寄せられている
		R 8 実績	—
2	事業参加者の交流の度合い	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答 50%
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答 80%
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画し、実施する(ゴスペルコーラスワークショップ)。
- ② 近隣地域で活動中のアーティストによるコンサートを行い、活動を支援する(TABUNOKI ミュージックテラス)
- ③ 施設にゆかりのアーティストを小学校に紹介する学校プログラムにコーディネーターとして参画する。

(4) 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検の実施率	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	施設利用者へのアンケート回収時に利用者の協力を得られる場合はヒアリングを行っている。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	施設の使用状況について利用者に行ったヒアリングの内容のうちのうち必要と判断される案件に対し迅速に対応できている。
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	年度ごとの仮決算で、予算と差異が生じた管理運営費すべてについて要因分析と改善策検討を行っている。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	第四期指定管理期間の管理運営費の推移の中で変動のある科目について要因を分析し改善案を策定する。
		R 8 実績	—
3	設備機器の予防保全のための施設巡回点検を行う	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	毎月 1 回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検を職員立ち合いのもと行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	第毎月 1 回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検により、利用者が快適に施設を使用できる状態を保つ。
		R 8 実績	—
4	美観維持のための清掃	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	週 3 回の清掃員による清掃と年 6 回の清掃業者による作業、及び職員の日頃の清掃・点検により施設の美観が保たれている。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設の美観が保たれ、美観についてのクレームがゼロになる。
		R 8 実績	—
5	経費節減を意図した不具合対応	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	施設の予防保全のための不具合箇所の早期発見
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	不具合箇所の早期発見が予防保全をもたらし経費節減につなげる。
		R 8 実績	—
6	長寿命化のための設備機器点検	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	計画的管理を行うことで施設の長寿命化が図られている。
		R 8 実績	—

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 施設使用状況について利用者からヒアリングを行い、必要な案件を整理する。
- ② 毎月1回のスーパーバイザーによる施設点検を、職員立ち合いのもと実施する。
- ③ 設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行う。

(5) 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	感染予防対策を講じての自主事業の実施		—	R4年 実施数 +1件	—	—	—	R4年 実施数 +1件	—
2	感染予防 対策を 講じての 貸館事業の 継続	貸館 利用率							
		ホール	—	75%	—	—	—	78%	—
		会議室	—	47%	—	—	—	48%	—
		多目的ル ーム	—	59%	—	—	—	60%	—
	音楽練習 室	—	89%	—	—	—	90%	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	ガイドラ インに沿 って感染 症対策行 う	R4実績	—
		R5達成指標	感染症対策を行い、感染者数ゼロを目指す。
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	感染症対策を行い、感染者数ゼロを目指す。
		R8実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ① 日常的に飛沫防止、換気対策、消毒等感染症対策を施し、安全な利用ができる状況を確立する。
- ② 事業実施の際には消毒、集客人員の設定、飛沫防止等感染症予防対策を十分に施し、感染者数ゼロを目指す。

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標
1 歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける(使命2-1,2)	1 建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業を開催する	□野口英世フェア	1回
		□野口英世博士への手紙コンテスト	1回
		□夏休みこども体験教室	1回
	2 地域の施設、団体と連携した事業を開催する	□夏休みファミリーコンサート	1回
		□生涯学習フェスティバル	1回
2 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む(使命3)	1 人材育成をにらんで良質な文化芸術の鑑賞機会を創出する	□みず色の風コンサート	4回
		□夏休みファミリーコンサート(再掲)	1回
	2 幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画し実施する	□ゴスペルコーラスワークショップ	12回
	3 近隣地域で活動中のアーティストによるコンサートを行い、活動を支援する	□TABUNOKIミュージックテラス	2回
	4 施設を練習の拠点としている団体の発表会を行い、相互交流を図る	□長浜ホール感謝祭	1回
5 施設にゆかりのアーティストを小学校に紹介する学校プログラムにコーディネーターとして参画する	□学校プログラム	3回	

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標
1 文化芸術の活動と体験の場になる(使命1)	1 旧細菌検査室の適切な保存と管理	■旧細菌検査室の保存及び展示物の適切な管理	実施
		□検査室の一般公開(開館日):ホールに準ずる	ホール開館日に準ずる
		□検査室の一般公開(開館時間):9:00~17:00	9:00~17:00
	2 貸館の運営	■貸館受付は午前9時から午後9時、職員が対応	実施
		■音響・照明担当1名を配置	実施
	3 利用者の現状把握	■事業開催等で随時アンケートを実施	実施
		□利用者懇談会を開催	1回
		□ホール利用者を中心に利用相談を実施	週1回
		□スタッフミーティングを実施	月1回
2 組織的な施設運営(様式10)	1 必要人材の配置と職能	□施設長(館長)	配置
		□運營業務担当者1名	配置
		□事業担当者1名	配置
		□受付・事務室スタッフ6名	配置
		□施設の維持・管理担当者(1名)	配置
		□音響・照明担当者(1名)	配置
		□清掃業務担当者(1名)	配置
	2 主要人材の能力担保	■専門職員研修	通年
		■事業制作、経理、広報、人権、コンプライアンス等の組織内研修	通年
		□個人情報保護の研修	1回
		■日常業務におけるOJT	通年
		□AED使用訓練	1回
		□防災訓練	2回

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

3 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力(様式22)	1 利用料金収入を増やす取り組み	■スタンプカードを導入してのリピーター利用率向上	実施
		■設備利用料金の見直し	実施
		■要望の多い設備導入の検討と導入	実施
		■自主事業の新規企画の検討	実施
		■事業開催チラシの拠点配布	実施
		■ホームページでの事業告知	実施
		■広報よこはま、タウンニュース等新聞メディアでの事業告知	実施
	■Twitter等SNSを活用しての事業告知	実施	
	2 その他収入を増やす取り組み	□飲料ベンダーの設置	2か所
		□撮影ロケ地としての活用	随時
		□コスプレイベント会場としての活用	随時
	3 配信事業	■撮影ロケ地としての魅力をホームページでアピールします。	随時
	4 光熱費削減への取り組み	■こまめな照明・冷暖房機器の発停	随時
5 備品・消耗品の見直し	■必要最小限の購入にとどめる	実施	
6 備品・消耗品関連費の削減	■他の指定管理施設との一括購入	実施	

評価項目		令和5年度計画	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標
1 保守管理業務(使命6)	1 日常点検業務・定期点検業務	■「指定管理者業務の基準」ならびに「同別添資料」に示された保守点検業務を着実に遺漏なく実施します。	実施
		■定期点検を各月1回、計画的に実施します。	実施
	2 施設及び設備の維持保全及び修繕	■点検を通して発見された軽微な不具合箇所について迅速に対応します。	実施
		■多額の費用や期間を必要とする修繕箇所や、耐用年数等により対応が必要とされる事案については横浜市所管課に報告します。	実施
	3 備品等の適切な管理	■備品等は、常に良好な状態に保ち、管理します。	実施
		□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

2 環境維持管理業務 (使命6)	1	清掃業務	<p>■「指定管理者業務の基準」ならびに「同別添資料」に記載された環境維持管理業務を着実に遺漏なく実施します。</p>	実施
			<p>■施設の利用状況等について建物管理会社と緊密に連携を取りながら、利用者がいつでも快適に施設を利用できるよう実施します。</p>	実施
	2	廃棄物処理及び環境への配慮	<p>■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めます。</p>	実施
	3	空気環境測定	<p>■法令に従い、浮遊粉じん・二酸化炭素・一酸化炭素・温度・相対湿度・気流の空気環境の測定を年1回実施します。</p>	実施
3 保安警備業務 (使命6)		保安警備業務	<p>■施設内の保安業務は、モニター及びセキュリティシステムを活用して行います。</p>	実施
4 防火・防災等 (使命6)		平常時の防災対策	<p>■消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成します。</p>	実施
			<p>■自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。</p>	実施
			<p>■横浜市防災計画に基づき、対応マニュアルをあらかじめ作成します。</p>	実施
			<p>■AEDを導入し、適切な管理及び職員への十分な操作研修を実施します(再掲)。</p>	実施
5 緊急時の対応 (使命6)		大規模災害への備え	<p>■行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うとともに、行政機関と協力し災害対応に協力します。</p>	実施
			<p>■大規模災害に備え、保存食や簡易トイレなど災害備蓄品を常備し適切に維持管理します。</p>	実施
6 その他施設管理に関する事項	1	駐車場管理業務	<p>■長浜ホール用として持つ15台分の駐車場を安全に適切に管理します。</p>	実施
	2	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	<p>□甲種防火管理者</p>	配置

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標
1 指定管理料のみに依存しない収入構造(様式22)	1 自主事業収入	□3期実施分の事業をすべて継続し、199万円の事業収入を目標とします。	199万円
	2 利用料金収入	□利用率向上のための施策に積極的に積極的に取り組み、489万円の利用料金収入を目標とします。	489万円
	3 その他の収入	□飲料ベンダー、撮影協力費等により、49万円の雑収入を目標とします。	49万円
2 経費削減等効率的運営の努力(様式22)	1 人件費の抑制	■サービスを低下させずに柔軟な人員配置を推進します。	推進
	2 委託費の抑制	■事業出演料や講師料金の抑制を公演等の質の低下につながらない程度に見直します。	推進
	3 印刷製本費の抑制	■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制します。	抑制
V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準	取組内容	目標
1 日報、月報の作成・管理		□業務日報の作成	実施
		□管理運営月報等をモニタリングにおいて報告	実施
2 事業計画書・事業報告書の作成・管理		□業務計画書・業務報告書の作成	実施
		□業務計画に沿って成果が見える報告書を作成	実施
3 業務評価の実施		□自己評価	実施

令和5年度 横浜市 長浜ホール 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

VI その他	選定要項	取組内容	目標
1 市の重要政策課題への対応 (様式23)	1 個人情報保護についての取組	■当JVの定める「個人情報保護方針」等に基づき適切に対応します。	実施
	2 情報公開についての取組	■ホームページ等で業務計画、業務報告、事業・施設の状況を積極的に提供します。	実施
		■当JV定める「情報公開規程」等に基づき適正に対応します。	実施
	3 人権尊重についての取組	■職員に対して人権に関する研修を実施します。	実施
	4 環境への配慮に関する取組	■施設の利用状況に合わせて不要な点灯や空調稼働を最大限抑止します。	実施
		■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制します。	実施
		■利用者によるごみはすべて持ち帰るよう要請します。	実施
5 障害者差別解消	■貸出用車イス、多目的トイレ、筆談対応セット、天眼鏡、身障者用駐車スペース等の設備を整えます。	実施	
	■車イス利用者等にはフラットな出入口の利用を案内します。	実施	
6 男女共同参画	■男性・女性の別なく職員が活躍する職場づくりを行います。	実施	
7 市内中小企業優先発注についての取組	■原則として業務委託と物品購入は横浜市「物品・委託等有資格者名簿」に登録された企業に発注します。	実施	
2 その他	1 保険及び損害賠償の取扱い	■施設賠償責任、動産総合、レジャーサービス施設の各種保険に加入	実施
	2 関係法令等の順守	■業務の基準等の定めに応じた関係法令を順守する。	実施
	3 市及び関係機関等との連絡調整	■事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する。	実施
■金沢区の民施設連絡会等に参加します。		実施	
■横浜市からの要望、要請に適切に対応します。		実施	

令和5年度 「横浜市長浜ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,451,000		37,451,000		37,451,000	横浜市より 賃金スライド含む
利用料金収入	7,080,000		7,080,000		7,080,000	
自主事業収入	1,990,000		1,990,000		1,990,000	ホール外事業・学校プログラムを含む
			0		0	
雑入	497,000	0	497,000	0	497,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	180,000		180,000		180,000	
			0		0	
その他(撮影料他)	317,000		317,000		317,000	
収入合計	47,018,000	0	47,018,000	0	47,018,000	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,029,000	0	24,029,000	0	24,029,000	賃金スライド含む
給与・賃金	24,029,000		24,029,000		24,029,000	共同事業体職員、パート職員給与
社会保険料			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
通勤手当			0		0	上記に含む
健康診断費			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
事務費	2,400,000	0	2,400,000	0	2,400,000	
旅費	95,000		95,000		95,000	
消耗品費	100,000		100,000		100,000	
会議賄い費	12,000		12,000		12,000	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	広報・宣伝費含む
通信費	690,000		690,000		690,000	ホームページ管理費
使用料及び賃借料	82,000	0	82,000	0	82,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料
その他			0		0	
備品購入費	330,000		330,000		330,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	35,000		35,000		35,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	876,000		876,000		876,000	令和4年実績より
手数料	0		0		0	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	
事業費	2,215,800	0	2,215,800	0	2,215,800	
自主事業費	2,215,800		2,215,800		2,215,800	学校プログラム等経費を含む
			0		0	
管理費	17,957,200	0	17,957,200	0	17,957,200	
光熱水費	7,509,200	0	7,509,200	0	7,509,200	
電気料金	3,946,800		3,946,800		3,946,800	
ガス料金	2,762,400		2,762,400		2,762,400	
水道料金	800,000		800,000		800,000	
清掃費	4,432,000		4,432,000		4,432,000	
修繕費	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
機械整備費	594,000		594,000		594,000	
設備保全費	3,722,000	0	3,722,000	0	3,722,000	
空調衛生設備保守	528,000		528,000		528,000	
消防設備保守	198,000		198,000		198,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	2,996,000		2,996,000		2,996,000	舞台保守費含む
共益費	0		0		0	
公租公課	10,000	0	10,000	0	10,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	10,000		10,000		10,000	
その他()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	406,000	0	406,000	0	406,000	
本部分	406,000		406,000		406,000	本社費、所管課及び総務・人事・経理他関係費として計上
当該施設分			0		0	
			0		0	
支出合計	47,018,000	0	47,018,000	0	47,018,000	
差引	0	0	0	0	0	